



【生涯学習フロア】(1階：福井県生涯学習センター若狭支所) 詳細はチラシ、ポスター、HP をご覧ください。

11月からの行事案内

福井ライフ・アカデミー 現代的課題講座



【生命・健康】自分らしく、楽しく生きるために
～自分でできる健康づくり～

【講堂】13:30～15:00

第3回 11月6日(土)

膝と腰の痛みに対するアプローチ

講師：おおい町なごみ診療所

理学療法士 鳥羽 伸良 氏

第4回 11月13日(土)

健康づくりと運動

～生活の中で体を動かしていますか？～

講師：福井大学医学部国際社会医学講座

環境保健学領域

助教 平井 一芳 氏

【コミュニケーション】人とつながるコミュニケーション
【第2期】

各回、申し込み・材料費が必要です

第4回 11月28日(日) 【研修室】13:30～15:30

わくわく木工体験(定員：10組程度)

★県内産の杉をつかって、ナチュラルスタイルのトレイを作ります。(材料費：1つ1,000円)

講師：「WOOD BOX」 森下 繁 氏

＜申し込み期間：10/28～11/21＞

第5回 12月5日(日)

【場所：御食国若狭おばま食文化館】13:30～15:30

親子でオリジナルピザにチャレンジ(定員：30名)

★初めてでも簡単！味も形も思いのままに楽しく作っちゃおう♡(材料費：1枚500円 直径約20cm)

講師：「ペンションくらはし」 倉橋 拓也 氏

＜申し込み期間：11/7～当日の午前中＞

第6回 12月12日(日) 【研修室】13:30～15:30

ナチュラル☆カントリー ハンドクラフト

(定員：10組程度)

★手芸用樹脂を使って、オンリーワンのアクセサリ(指輪かペンダントトップ)を作ってみませんか。

(材料費500円～800円)

講師：「Craft 木ひか」 前田 和美 氏

＜申し込み期間：11/5～12/5＞

センター主催事業



おはなし会

第5回 11月6日(土)【ミーティングルーム】10:30～11:00

☆絵本の読み語り

「きょうはなんのひ？」(瀬田貞二/作・林明子/絵)



☆紙芝居 ほか

◇語り手：若狭図書学習センター職員

わくわく子どもシアター

第7回 11月21日(日)【講堂】10:30～11:30

☆楽しいアニメーションを上映します



友愛塾

香りの魔法～アロマテラピー講座～

素敵な香りのアロマクラフトで香りを感じてみませんか



第4回 11月14日(日)【研修室】13:30～15:30

好きな香りをフレンドしてハンドマッサージをしよう(フレンドマッサージオイル) 県民講師：西村 江利子 氏

11月の開館

日	月	火	水	木	金	土
	1	2	3*	4	5	6*
7*	8	9	10	11	12	13*
14*	15	16	17	18	19	20*
21*	22	23*	24	25	26	27*
28*	29	30				

12月の開館

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4*
5*	6	7	8	9	10	11*
12*	13	14	15	16	17	18*
19*	20	21	22	23*	24	25*
26*	27	28	29	30	31	

閉館日のお知らせ

- 毎週月曜日(注1)
- 第4木曜日(2F)図書フロアのみ(注2)
- 国民の祝日の翌日(注3)
- 蔵書点検期間・年末年始
- (注1)ただし、祝日の場合は、開館する
- (注2)ただし、祝日に当たる場合は開館し、翌日に振り替える。また、12月は変更も有り
- (注3)ただし、土・日に当たる場合は開館する

～開館時間～

- 平日 9:00～19:00
- *土・日・祝日 9:00～18:00
- *臨時閉館日

★11月3日(水：文化の日)、23日(火：勤労感謝の日)、
12月23日(木：天皇誕生日)は臨時開館します。(9:00～18:00)

◎若狭図書学習センターは、福井県立図書館若狭分館と福井県生涯学習センター若狭支所を合わせた複合施設です。

【図書フロア】（2階：福井県立図書館若狭分館）

若狭図書学習センターだより

若狭路 平成22年11月号

2階 一般コーナー特集

歴史小説に描かれた姫たち（本の特集）

福井県とも縁の深いお市の方とその娘たちをはじめ、波乱の生涯を生きた女性達を描いた歴史小説を紹介します。

期間：10/29（金）～11/23（火）

2階 子どもコーナー特集

秋の夜長にこの一冊（本の特集）

読書週間に合わせて、小学校高学年～中学生に人気の読み物の特集します。秋の夜長を、本を片手に過ごしませんか？

期間：10/29（金）～11/23（火）



『写真週報』に見る“戦中”の暮らし展を開催します。

入場無料

昨年、塩竈の長谷勇氏より寄贈のあった『写真週報』。このたび県立図書館で整理を終えたのに合わせ、その一部を紹介します。資料を通して、戦時下の人々の暮らしや戦争が与えた社会への影響をご覧いただけます。平和を願う心を次の世代へ伝えていきましょう。



<場所> 1階 エントランスホール <期間> 平成22年11月10日（水）～平成22年11月28日（日）

写真週報とは？ 内閣情報部（のちの内閣情報局）により刊行された週刊のグラフ雑誌。

昭和13年（1938年）2月16日創刊号から、昭和20年（1945年）7月11日付終刊号まで、370冊が発行された。

行こうよ！読もうよ！図書館利用キャンペーン開催中。図書館で本を借りて、読書グッズを当てよう！

今年も読書週間がやってきました！



終戦の2年後の1947（昭和22）年、まだ戦争の傷あとが日本中のあちこちに残っているとき、「読書の力によって、平和な文化国家を創ろう」と、出版社・取次会社・書店と図書館が力をあわせ、そして新聞や放送のマスコミも一緒になり、第1回「読書週間」が開かれました。

第1回「読書週間」は11月17日から23日でした。これはアメリカの「チルドレンズ・ブック・ウィーク」が11月16日から1週間であるのにならったものです。各地で講演会や本に関する展示会が開かれたり、読書運動を紹介する番組が作られました。いまの10月27日から11月9日（文化の日をはさんで2週間）になったのは、第2回からです。

それから60年以上が過ぎ、「読書週間」は日本中に広がり、日本は世界のなかでも特に「本を読む国民」の国となりました。そして、今年「国民読書年」です。

今年の「読書週間」が、みなさん一人ひとりに読書のすばらしさを知ってもらおうきっかけとなることを願っています。